

平成 24 年度基盤的施策ヒアリング資料 【文部科学省】

	施策番号	241007	領域	基礎研究	施策名	戦略的研究推進事業（新技術シーズ創出）	
施策の目標	第4期科学技術基本計画等が掲げる我が国の重要課題の達成に貢献するため、国が示す戦略目標の下で研究開発を推進し、イノベーションの創出に資する新技術シーズとなる研究成果を得る。						
目標実現に向けた具体的アプローチ	- 新成長戦略及び第4期科学技術基本計画等において掲げられている2大イノベーション（グリーンイノベーション、ライフイノベーション）や我が国に強みがある先進的な基盤研究領域等において文部科学省が戦略目標を提示。戦略目標については、平成23年度戦略目標より以下の点を改善。 - 研究領域終了後に達成すべき目標を明確化し、「達成目標」として明記。 - 基礎研究であるものの、将来の社会への還元のビジョンを明確にするため、「将来実現しうる重要課題の達成ビジョン」を明記。 - 課題達成に向けて総力を結集するため、関連施策との役割分担に加え、「連携」についても明記。 - 戦略目標の下に、科学技術振興機構が研究領域を設定するとともに、当該分野の第一人者を研究総括（目利き）として選任。研究総括は課題達成に向けて研究提案を公募・選定し、組織の枠を超えた時限的な研究体制（バーチャルインスティテュート）を構築。研究提案採択後も、研究総括が研究費の配分、研究計画の調整、研究者への助言等、研究マネジメントを実施し、戦略目標の達成に資する研究成果の創出を目指す。 - 戦略目標の達成に向け、研究の特性等に応じた以下の研究スキームによって効果的に研究を推進。 - インパクトの大きなイノベーションシーズを創出するためのチーム型研究を推進するスキームである「CREST」 - 未来のイノベーションの芽を育む分野融合を通じた個性的な個人型研究を推進するスキームである「さきがけ」 - 卓越した研究リーダーが自ら実施する独創的な研究を推進する「ERATO」 - 戦略目標の達成に向けた研究が着実に行われるよう、文部科学省とJSTの連携や、研究領域間の連携を強化。 - 研究領域の中間・事後評価において、達成目標の達成状況に照らした評価を実施するとともに、研究の進捗のみならず研究領域の研究マネジメントについても評価。 - 本事業における研究終了後には、実用化に向けた研究事業や民間企業との共同研究等につなげていく必要がある。						
個別施策	個別施策名	概要及び到達目標・時期			H24当初合計額 （復興、要望枠を含む） （H23）（百万円）	期間	実施機関
予算額 （百万円）	H24当初要求額合計（復興、要望枠を含む）				53,215		
	うち運営費交付金				53,215		
期間	H14-		資金投入規模（億円）（H14-H24）		5,260		
実施体制	本事業では、文部科学省が戦略目標を示し、その下で、科学技術振興機構が研究領域を設定し、産学官の組織の枠を超えた時限的な研究体制（バーチャルインスティテュート）を構築して研究を推進。						
施策責任者	文部科学省研究振興局基礎研究振興課長 内丸 幸喜						
目標実現に向けた現状分析	資源・エネルギー問題、少子高齢化等の課題の達成に向けイノベーションの創出が求められる中、諸外国は、イノベーションへの投資の拡充を打ち出している。特に、新興国が、科学技術分野における存在感を急速に増大している。このような中、我が国が将来にわたって国際競争力を保持していくためには、次世代のイノベーションの芽を、継続的に生み出し、育成していく必要がある。本事業は、我が国における、課題達成型基礎研究の推進に中心的役割を果たしており、これまでも、iPS細胞の樹立や鉄系超電導物質の発見など、イノベーションにつながるものが期待される世界を牽引する成果を創出してきたところである。						